

## 会 議 録

会議名	平成 20 年度 第 3 回 相模原市行政評価検討委員会		
事務局	企画部 企画政策課 都市経営推進室		
開催日時	平成 20 年 9 月 24 日（水曜日）18 時から 21 時 30 分まで		
開催場所	市役所職員会館 1 階検診室 1		
出席者	委員	7 人（吉田委員、西本委員、霧生委員、伊藤委員、出沼委員、戸川委員、西委員）	
	その他	0 人	
	事務局	4 人（都市経営推進室長 外 3 人）	
公開の可否	公開可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 座長あいさつ 2 傍聴の確認 3 議題 3 次評価の実施に向けたヒアリングについて   ・ ・ 資料 1 4 3 次評価の実施方法について                   ・ ・ 資料 2 5 その他 次回スケジュールについて                   ・ ・ 参考		

### 【審議経過】

主な内容は次のとおり。

- 1 座長あいさつ（吉田民雄委員）
- 2 傍聴の確認（なし）
- 3 議題  
    3 次評価の実施に向けたヒアリングについて   ・ ・ 資料 1  
    下表のとおり、ヒアリングを実施。所管課の説明 5 分、質疑応答 20 分。

時 間	担当課	施策番号	施策名	
1	18 : 00	こども育成課	13120	子育て支援の充実
2	18 : 35	中央保健センター	12210	自ら行う健康づくり
3	19 : 10	総合学習センター	15120	生涯学習活動の支援
4	19 : 40	スポーツ課	15210	スポーツ・レクリエーション活動の促進
5	20 : 15	公園課	22420	地域の特性を生かした公園の整備
6	20 : 50	産業振興課	31310	人材・技術など経営資源の強化支援

- 4 3 次評価の実施方法について                   ・ ・ 資料 2  
    3 次評価は、ヒアリング実施分含め、全 118 施策で実施する。

## 5 その他

次回のスケジュールについて

10月9日（木）午後7時から開催

議題：3次評価（案）の検証及び確定

以下主な意見、質疑応答等（○は委員、●は担当課、◆は事務局の発言、\*委員会としての意見・要望）

### 【13120 子育て支援の充実】

- 例えば、指標1の会員数を増やすための行政の努力を示せる指標はあるのか。
- 会員数が伸び悩んでいる要因としては、援助会員として登録したにもかかわらずマッチングが無く、実績が無い中で、会費のみ徴収されることから更新時に退会する方が多い。会費の徴収方法を実績に応じた方法に変更するなどしているが、数値としては捉えにくいと考えている。
- 市民の力を必要とする施策は、市民への周知が重要であり、参加へのアプローチの方法をわかりやすくすることで市民の納得が得られ、参画が進むのではないか。
- 現在の周知方法としては、援助を受ける側については、子育てガイドを作成し、母子手帳とセットで配布している。
- 周知方法とその効果を指標化することも検討してはどうか。
- 学校などでも周知すると効果的ではないか。
- 次世代育成支援行動計画に盛り込んでいきたい。
- 目標値設定が中核市ベースであるが、人口が同規模の都市や近隣市との比較の方がわかりやすいのではないか。
- 市民満足度調査にあるように、なぜ30代の満足度が低いのかを分析すれば、課題と解決策を導き出せるのではないか。
- 計画が出来るのを待つのではなく、市民のニーズがあるのであれば、積極的に進めるべきではないか。
- 構成事務事業はグループ化できるのではないか。事業対象も子どもなのか、親なのか事業を整理し体系化して進めるべきではないか。
- 目標値設定があまりにも低いのではないか。サポートする側への周知も必要である。
- \*現状分析から課題と解決策を導き、対応可能部分についてはすぐに対応策を検討すること。
- \*指標1については、目標値が低いので、トレンドではなく、相模原市として意思を持った目標設定を行うこと。

### 【12210 自ら行う健康づくり】

- 指標5の対象となる市民の意識改革はどうするのか。難しいと思うが動機付けなどは考えているのか。
- 個々に合った目標設定を行い、行動を変えるよう指導している。また、受け身ではなく、公民館等で積極的に事業実施している。

- 相手がある事業については、どこまでお金をかけて事業推進するのが難しい。スポーツとの連携なども検討してはどうか。
- 指標1は、目標達成されていないが、なぜ課題として記載が無いのか。
- 指標5は、目標値の考え方にある健康プラン21の指標にするほうが良いのではないか。
- 健康プラン21の指標「適正体重を維持している人の割合」を設定することを検討する。
- \*課題と解決策を明確にすること。
- \*市民が納得できるような指標を検討すること。

#### 【15120 生涯学習活動の支援】

- 指標2の利用率の対象となる会議室は何室あるのか。
- 1室である。
- 指標として意味があるのか。
- 団体利用だけでなく公民館等の利用者も含めて見せる方が市民には理解しやすいのではないか。
- 指標4に対する行政のサポートはあるのか。
- PTA総会等で事例紹介などを行っている。
- 委託した事業の成果を把握することを心がけるべきである。
- 指標3の学習相談の対象は誰なのか。
- 市民全般である。
- 指標としては、講師のバリエーションであるとか、講師の稼働率なども検討してみてもどうか。
- \*課題に対する解決策に具体性がなくわかりにくい。具体策を検討し記入すること。
- \*生涯学習の施策が3施策あるが、再構築を行い、その上で指標設定を検討すること。

#### 【15210 スポーツ・レクリエーション活動の促進】

- 体育協会への補助金の支出割合が大きいですが、指標との関わりはどうなのか。
- 指標4の各種大会参加数に最も影響を与えている。
- 補助金に占める人件費の割合が高いのではないか。
- 補助金額の半分以上を占めており、今後見直す方向である。
- 指標1のスポーツ振興計画の目標値の根拠は。単に按分によるというのは、目標値としてどうかと思う。
- 国の指針に基づき設定している。
- \*指標1・3については、相模原市独自の目標設定を検討すること。
- \*解決策が課題に対する解決策になっていないので、課題を見極め、解決策を検討すること。

### 【22420 地域の特性を生かした公園の整備】

- 整備事業から指標を考えると指標設定が難しい施策ではあるが、完成後の市民利用の状況を指標化することは出来ないか。
- 施策としては、公園課は整備を行うことで、完成後はそれぞれの所管課での管理運用と考えている。
- 国の仕分けで施策を体系化しているが、妥当性はあるのか。相模原市としての考え方があってもいいのではないか。
- 公園の種別としては、大きく2つに分けられると考えており、住区基幹公園と都市基幹公園である。
- 合併も踏まえた公園整備も必要ではないか。
- 近隣公園の配置の中で検討していく。
- 「地域特性を生かした」の概念を少し広げて考えてもいいのではないか。そのために施策体系を整理する必要もあると思うが。
- 公園整備にあたり、地域住民とのヒアリングなどは実施しているのか。
- 地域との調整は行っている。特に近隣公園などは、地域の声をなるべく反映するためにワークショップを活用し、事業にあたっている。
- ワークショップの参加者に完成後の満足度を問う方法もあると思うが。
- 住民ニーズを測りつつ、ニーズの高い分野への資源の集中が望ましい。
- \* 指標として公園利用率などを検討すること。
- \* 公園整備について、相模原市としての全体イメージが掴みにくい。市民にわかりやすい施策体系を検討すること。

### 【31310 人材・技術など経営資源の強化支援】

- 人材に対するニーズは多いと考えていいのか。
- 現場の技術者が不足しているという声は、多方面から頂いている。
- 新卒者なのか経験者なのか。ニーズ分析は行っているのか。
- 工業系の高校が2校無くなり、普通課の高校から雇用している状況ではあるが、雇用した会社で基礎的な研修を行うゆとりはないようである。
- 解決策にあるS I C-3の機能は何か。
- 技術者の育成も含めて幅広く行う予定である。既存施設とは別の機能を持たせる方向である。
- 指標5・6などの研修や講習会は、行政で行うべき範囲が難しいと思うが、どこまで関わっていくのか。
- 関係各所との調整の中で検討していく。
- 費用対効果は、検証する必要がある。
- 課題に対する解決策が、ハコ物作りというのは短絡ではないか。
- 取り組みの速度が遅いのではないか。団塊の世代の活用など活動の場を考えても良いのではないか。
- 大学機能の活用も検討すべきではないか。
- 職業能力開発総合大学校は定員割れしているのではないか。連携を深め、積極的に活用を検討すべきである。
- ニーズがあるとは指標からは読み取れないが。

- 産業会館の実施事業との住み分けは出来ているのか。
- 平成21年度から整理・統合し再出発する予定である。
- \*市として主体性と目標を持って事業推進にあたること。
- \*民間等が実施している事業との住み分けを明確にし、事業の取捨選択を行うこと。

【決定事項】

- ◎ 3次評価は、全118施策について実施する。
- ◎ 評価（案）の検証及び評価確定作業を10月9日（木）に実施する。

相模原市行政評価検討委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
吉田 民雄	東海大学教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
野中 保	相模原市自治会連合会	欠
西條 政夫	相模原商工会議所	欠
佐々木亮一	相模原青年会議所	欠
伊藤 武	相模原地域連合	出
西本 敬	相模原ボランティア協会	出
出沼 聡	公募委員	出
戸川 武彦	公募委員	出
西 秀秋	公募委員	出